

○神戸学院女短大 金山真知子  
奈良女大家政 丹羽雅子

〈目的〉 芯地は衣服で使用される部位や用途によってその要求性能は異なる。本報では、芯地の機能と最も密接な関係をもつ力学の性質と伸縮性をとりあげ、用途別に各種の芯地の力学的性質、寸法変化特性を計測し、芯地の性能とその物性との関連づけを行ない、用途に適し、かつ表地に適する芯地の選択のための基礎的資料を得ることを目的とする。

〈方法〉 上衣に用いられる芯地で、素材、糸の構造、布の構造の異なる各種の市販芯地を試料とし、KES-FB計測システム<sup>1)</sup>を用いて、引張り、曲げ、せん断、圧縮の基本変形に対する性質と表面特性、厚さ、重量の特性項目について計測する。他方、芯地の吸脱湿時、水浸漬時、ドライクリーニング時の寸法変化特性を計測する。

〈結果〉 衣服の成型性、保型性には芯地の曲げ特性とのなかりが最も顕著で、前身頃用いられる芯地ではたて、よ二方向の異方性が大きく、たて方向に対してよ二方向の曲げ剛性は7倍程度のものが多くよ二張りが強いこと、また垂れ芯ではほとんど1で、たて、よ二方向に同程度の曲げ剛性をもつこと、馬斯毛芯ではたて、よ二方向の曲げ剛性の比は数百倍に達するなど、芯地の機能とその性質の関連が明確に捉えられた。また衣服の寸法安定性には、芯地の引張特性や吸脱湿にともなう伸縮、また水浸漬、ドライクリーニング時などの寸法変化特性が微妙に関連することなどがわかり、芯地の性能とその物性との関連が定量的に得られた。

文献 1) 川端季雄; 織機誌, 26, p.721 (1973)